

# Ledy Home Doctor

レディアホームドクター

## Q&A

中学生の子どもが、学校の健診で尿タンパクを指摘されたのですが。大丈夫でしょうか。

### 検査時陽性でも心配ないことも むくみが現れたら精査が必要

健康な人でも1日に少量(40~120mg/日)のタンパクが尿へ排泄されていますが、量が少ないため尿検査では陰性になります。ただし尿タンパクの検査が陽性であっても、心配ない場合もあります。(日)立位で尿タンパクが出るが横になると消失する「起立性タンパク尿」(月)過度の運動などが原因のタンパク尿—そのほか、ストレスや生理、発熱時などが挙げられます。以上は「生理的タンパク尿」といって、病的なものではありません。

より正確な結果を求めるには、起床時に検査をします。採取(早朝第一尿、中間尿)の方法としては(日)検尿前夜は入浴して体(特に排尿部)を清潔にする(月)就寝前は必ず排尿し、起床直後の尿を採尿する(火)出始めの尿は採尿せず、途中の尿(中間尿)を採尿する。(参考/検尿マニュアル)

学童期の腎臓疾患には、急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、先天性遺伝性腎炎、尿路感染症、尿路結石症などがあります。尿タンパクに加えてむくみがあるときは特に注意してください。また、進行すれば腎不全などを引き起こす「IgA腎症」はより精密な検査・治療が必要になります。尿タンパクを指摘された場合は、早めに病院にご相談ください。



回答医師

**原口 総一郎** 先生

岡山第一病院 副院長兼診療部長  
佐賀大学医学部医学科卒業。九州厚生年金病院、佐賀大学医学部附属病院、佐世保共済病院腎臓内科部長・内科部長を経て、2011年より現職。日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医・指導医など取得専門医多数。

■岡山市中区高屋343 ■TEL.086-272-4088

URL:<http://www.okayama-daichi.jp>